

U12 チームにおけるマスク着用などについて

平素より、群馬県バスケットボール協会 U12 部会の活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

現在、群馬県の警戒レベルが全県で「1」に引き下げられ、群馬県スポーツ少年団からも県内外を問わず対外試合や宿泊を伴う活動が可能との見解が示されておりますが、皆様におかれましては、引き続き日常の活動から感染対策意識を高めて頂けますよう重ねてお願い申し上げます。普段の練習や練習試合等につきましても、参加者(選手、審判、指導者、保護者など全ての関係者)の皆様は再度、下記の感染防止対策の徹底を意識してください。

- 1 マスク着用
- 2 ソーシャルディスタンスの確保
- 3 消毒
- 4 検温等健康チェック
- 5 換気

1. マスクについて

- ・指導者、保護者などについては、「不織布」マスクを推奨します。
- ・プレーヤーについては、熱中症・脱水症予防の観点から「布・ウレタン」マスクを推奨します
- ・濃厚接触者の判定を避けるためにマスクをすることは差し支えありませんが、特に体力のない小学生にマスクを強要することは慎んでください（高温時期の練習試合などにおいてはベンチでのマスク着用は義務としません）
- ・熱中症は生命の危険が伴うことを指導者、保護者は十分認識し、選手に対し適切な指導を行ってください。

一般社団法人群馬県バスケットボール協会
U12 部会部会長 銭谷和雄
感染防止委員長 毛呂裕臣